

正誤表

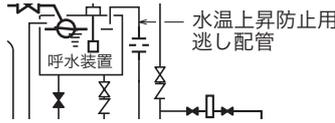
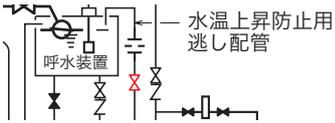
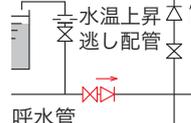
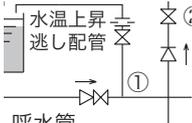
書名：本試験形式 消防設備士試験 2 類 模擬試験問題集

コード：978-4-485-23028-2

版刷：第 1 版第 1 刷

発行日：2016 年 7 月 27 日

正誤表作成日：2021 年 2 月 17 日

ページ	箇所	誤	正
12	問題 115	(1) アルカリ金属の過酸化物又はこれを含有するもの	(1) アルカリ金属の過酸化物又はこれを含有するもの 以外の第 1 類の危険物
13	問題 119 選択肢(3)	弾性限度内では、	比例限度内では、
64	問題 252 解答		
76	問題 339 (2)	…に加わる電圧を 1/3 に減少させて…	…に加わる電圧を $1/\sqrt{3}$ に減少させて…
80	問題 351 問題文	…特定駐車場用泡消火設備の配管系統に…	…特定駐車場用泡消火設備の 感知継手開放ヘッド併用型平面式 の配管系統に…
107	問題 452 の 図		
118	問題 452 解答の図		
116	問題 448 解答番号	(4)	(1)
129	問題 538	非常電源に関する記述として	泡消火設備に使用する 非常電源に関する記述として
140	問題 514 解説	(1)(2)(3)(4)をそれぞれ修正	(1) 消防法施行令第 13 条により、多量の火気を使用する部分で、床面積が 200m ² 以上のものに泡消火設備は 適用しない 。 (2) 指定可燃物により、設備の要否が判断される。 (3) 面積に関係なく泡消火設備が設置される。 (4) 通信機器室で、床面積が 500m ² 以上のものに泡消火設備は 適用しない 。
143	問題 531 左端数式	$\frac{H_3}{H_2} \geq 0.65 \quad \frac{H_1}{H_2} \leq 1.4 \quad 1.0 \leq \frac{H_2}{H_0} \leq 1.0$	$\frac{H_3}{H_2} \geq 0.65 \quad \frac{H_1}{H_2} \leq 1.4 \quad 1.0 \leq \frac{H_2}{H_0} \leq 1.1$
144	問題 538 解答番号	(4)	(2)
	問題 538 解説左段	特定防火対象物で…消火設備ごとに異なる。(詳細は、資料編表 25 参照)	(1)は、特定防火対象物で、延べ面積 1 000 m ² 以上のものにあつては、自家発電設備、蓄電池設備又は燃料電池設備によるものとされている。 (2)の容量は、下表によりガス系消火設備を除き、30 分間である。
	問題 538 解説右段	消火設備に設けられる非常電源は、非常電源が復旧したときは、自動的に非常電源から常用電源に切り替えられ、自家用発電設備だけではない。	(3)の蓄電池設備は、常用電源が停電したときは、自動的に常用電源から非常電源に切り替えられ、常用電源が復旧したときは、自動的に非常電源から常用電源に切り替えられるものであることとされている。 (4)の自家発電設備は、常用電源が停電したときは、自動的に常用電源から非常電源に切り替えられるものであることとされ、常用電源が復旧した場合の規定はない。

ページ	箇所	誤	正
147	問題 550 解答解説	解答 (B) B は, “ 鋼管取付バンド ” である。	解答 (C) C は, 鋼管取付バンド, 鋼管取付サドルバンド, 配管サドルバンドまたは単にサドルバンドと言われている。

※修正箇所は赤字で示しています